

## 単元名 につぼんのうた みんなのうた(2)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり，曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに，自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 拍やその流れ，旋律を聴き取り，それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲想を感じ取って表現を工夫し，どのように歌うかについて思いをもつことができる。
- (3) 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

01070206\_001

【教材名】 たきび（歌唱） おしょうがつ（歌唱）

(P. 76～P. 77)

【準備等】 範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 冬の情景を想像しながら「たきび」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 範唱を聴き，学習課題をつかむ。</li> <li>★ ふゆの ようすを おもいうかべて うたおう</li> <li>○ 聴唱法で歌う。</li> <li>○ 「あたろうか」「あたろうよ」の部分を交互唱にして歌う。</li> </ul> <p>2 お正月の様子を想像しながら「おしょうがつ」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 聴唱法で歌う。</li> <li>○ 願いや期待を込めて「おしょうがつ」を歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「かきね」「さざんか」などの分かりにくい言葉の意味を説明する。</li> <li>・ 「あたろうか」「あたろうよ」は会話になっていることを確認し，席の隣同士，列ごとなどで交互唱させる。</li> <li>【共通事項】 呼びかけとこたえ</li> <li>【評】 拍やその流れ，旋律を聴き取り，それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>【評】 自分の歌声や発音に気を付けて歌う活動を通して「技能」を評価する。</li> <li>・ お正月にはどんな遊びがあるか，話し合ってから歌わせるとよい。今では，あまり行われなくなってきている遊びもあるので，昔の日本のお正月の様子を家の人に（できればおじいさんやおばあさんに）事前に聞かせておくとよい。</li> <li>・ 「おいばね」など分かりにくい言葉を説明する。</li> <li>【評】 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり，曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりを感じながら歌う活動を通して「知識」を評価する。</li> <li>【評】 曲が表す情景や気持ちを歌で表現する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】